

事務事業名	イメージアップ推進事業（情報発信）				担当	総務部 企画課 企画調整係	
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			電話番号	0285-83-8102	
施策名	4	観光の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成19年度～）	
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.総務管理費	6.企画費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	本市の主な観光資源である木綿・温泉・SL・夏祭りなどを盛り込んだテレビ番組を制作、放映すること、また、本市のイベント等をテレビとラジオで事前告知することで、本市を知ってもらい、より多くの人に訪れてもらえるようPRするとともにイメージアップを図る。平成22年度からは、テレビ・ラジオのほかに、季節ごとのPR用映像を、市ホームページにアップ、「ベリー」HOT・HOTな情報発信事業として実施。また、平成22年度には合併1周年を記念し、さらなるイメージアップを図るため、市民に親しまれるイメージキャラクターを全国から公募し（964名の応募あり）、『コットベリ』を選定。イメージキャラクター『コットベリ』の着ぐるみを作成し、各種イベントで本市のPRに活用。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
24年度実績 ・「とちぎ発！旅好き」とのタイアップ ・とちぎテレビでのイベント告知 ・FM栃木（ほっとHOTもおか）でのイベント告知 ・いちごテレビにPR用映像制作を委託し、市ホームページへアップ ・いちごテレビの行政情報番組の中でイベント告知 ・イメージキャラクター「コットベリ」着ぐるみの各種イベントへの参加 25年度計画 ・とちぎテレビの事業は24年度と同じ。 ・イメージキャラクターを使ったPR活動を実施する。		名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
		ア	「とちぎ発！旅好き」延べ放送時間	分	270	270	240	240
		イ	テレビ・ラジオでのイベント告知放送時間	時間	41	37	656	1,066
		ウ	PR映像の本数	本	-	11	11	13
		エ	観光物産展の開催日数	日	-	2	2	7
		オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 埼玉、千葉、群馬及び栃木県内の住民 イメージキャラクター		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
		ア	埼玉、千葉、群馬及び栃木県内の人口	人	17,332,447	17,370,692	17,416,296	17,387,588
		イ	キャラクター数	個	1	2	2	2
		ウ						
		エ						
		オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 本市の魅力の情報発信し、認知してもらおうとともに訪れてもらう。 イメージキャラクターを活用する。		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
		ア	PR番組アクセス数（市ホームページ）	回（延）	410	2,217	1,788	3,187
		イ	着ぐるみのイベント参加数	回	-	9	33	32
		ウ	イメージキャラクター使用許可件数	件	-	3	2	7
		エ	イメージキャラクターを使用した商品等の数	件	-	3	2	6
		オ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 交流人口が増加、観光の振興に結びつける。		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
		ア	観光客入り込み数	人	2,784,799	2,806,703	2,230,492	2,463,570
		イ	SL乗客数	人	39,365	31,472	26,994	34,195
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	748	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	5,160	2,458	1,175	1,182	
	事業費計(A)	千円	5,160	3,206	1,175	1,182		
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	70	90	100	100	
		人件費計(B)	千円	284	384	424	420	
トータルコスト(A)+(B)		千円	5,444	3,590	1,599	1,602		

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成19年度、「観光の振興」が重点施策に位置づけられ、コストをかけても成果を向上させることになり、首都圏等へ向けた情報発信の手段として、テレビ・ラジオを利用し、広範囲にPRすることになった。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	平成24年度に実施した東京日本橋での観光物産展において、490部のアンケートを回収。その中で、「真岡市を知っている」と答えた人が約77%（昨年度比3ポイント上昇）、「真岡市の何を知っていますか」の問いには、答えた人の約46%がSLで、いちご（32%）を抑え、最上位であった。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 交流人口を増やすことが目的であり、観光や商業の振興に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 本市を知ってもらうために情報発信は必須である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 首都圏等へ情報発信することで、交流人口の増加に結びつける。 イメージキャラクターはイメージアップに有効な手段である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある テレビやイメージキャラクターを通じて、情報発信が図られている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 本市を認知してもらう情報発信の手段がなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最低限の制作・放送費用等であり、削減の余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 番組の内容等を確認するための人件費である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 特定の人の受益はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							